

Together

経営に関する難題解決の事例や手法、働く人々の思いや

業界最新情報を共有する月刊紙



株式会社 KBS 創研
KBS Tourism Institute, Inc.
2016.8 No.142

知識 [Knowledge] と行動 [Behavior] で問題解決 [Solution] を支援

KBS は「HANDS ON 型」で、観光・サービス業界を支援します。http://www.kbsbiz.com E-Mail : info@kbsbiz.com

暑中お見舞い申し上げます。猛暑が続いておりますがいかがお過ごしでしょうか。

KBS 創研では、今の時代に合ったソリューションサービスを提供させていただくべく事業の見直しや新たな事業領域の模索を致しております。それに伴い広報・PR のあり方も再編成しようと社内で検討しており、本紙 Together も不規則な発刊となっております。ご愛読いただいている方々におかれましては本紙のご感想などお聞かせいただければ幸いに存じます。今後とも KBS 創研並びに本紙 Together を何卒宜しくお願い申し上げます。



代表取締役 小泉壽宏

～地域資源を活かした旅行コンテンツを、市場側へ伝える取り組みとして～ 沖縄ならではの環境で健康を考える「沖縄健康実感ツアー」

KBS 社内で体験会を実施！ 2016年6月21日（火）～23日（木）

■なぜ、KBS が沖縄でツアーを造るのか？

沖縄には数多くの海洋資源や、人々の暮らしに根付いた文化があります。しかしながら沖縄の旅行商品の多くはこれらの一部を紹介したものに過ぎず、コモディティ（均質）化しています。そこで KBS では多くの方に沖縄の様々な魅力に触れていただきたいと思い、沖縄支店を持つ強みを活かし開設以来培ってきた人

脈や情報を基に沖縄ならではの体験ができる企画づくりに挑戦しています。

インターネットを介した旅行サービスとは別の価値を生み出す産業として旅行業の皆様とともに我が国の地域創生の一翼を担って参る所存です。全国の旅行業の皆様、共に頑張りましょう。

旅行市場側（発地）での商品造成

- * メリット 市場（お客様）の声を直接聞ける
市場に直接働きかけができる
- * デメリット 旅行目的地（着地）の情報に乏しく商品がコモディティ化しやすい
旅行目的地でのサービス提供者の思いが伝わりにくい

旅行目的地（着地）での商品造成

- * メリット 地域情報が入手しやすい
魅力ある人やコンテンツを巻き込みやすい
- * デメリット 市場のニーズとかい離し、独りよがりの企画に陥ることもある
商品の魅力を直接説明できない

旅行市場（関西、東京）と旅行目的地（沖縄）双方に営業拠点を持つ KBS が、そのメリットを活かすことで、新たな旅行商品を開発する

■ツアーテーマは「ウェルネス」

ウェルネスとは、健康な心身ならびに社会生活を得て、より積極的・創造的な健康を目指し、維持・発展させようとする生活行動をいいます。（コトバンクより）沖縄の素晴らしい青い空、澄んだ海は訪れる人々の心を癒してくれます。このような環境を活かしたアクアコンテンツが数多くあり疲れた現代人の身体をほぐします。また沖縄の人々が古（いにしえ）より口にしてきた当地ならではの食材や調理法に触れることは内面からの美と健康を考え

る契機となるでしょう。

KBS では琉球大学観光産業科学部の荒川雅志教授の監修のもと、様々なコンテンツを提供されている沖縄の皆様とともに「沖縄健康実感ツアー」を開発。健康運動指導士の中村美帆先生の指導を頂きながら、沖縄での心地よいひとときを味わいながら沖縄に行かないと体験できないアクティビティを楽しみ美と健康を考える観光プログラムを造成しました。

■ KBS スタッフによる「沖縄健康実感ツアー」体験

今回 KBS スタッフが体験した「沖縄健康実感ツアー」は 2泊3日の日程をフルに使った盛りだくさんの内容でした。琉球大学での荒川教授の講義、沖縄本島の宜野座村での WATSU（ワッツ）、水中経絡ストレッチ、ビーチヨガといったアクアコンテンツ体験、個性学、バイメカ、アクティブリスニングのレクチャー、そ

して沖縄固有の素材を活かし食の大切さを考えさせられる「がらまんじゃく」での食事、ローフードの専門家であるおかもとゆかり先生によるハーブとスムージーのお話し等、どれも心や身体に健康を考える貴重なものでした。その一部を披露します！（次ページ）

「沖縄健康実感ツアー」【1日目】

● 琉球大学の学生気分?! 学食での会食後、荒川教授の講義で沖縄の魅力を学ぶ。

昼過ぎに琉球大学に到着。荒川教授を交えまずは学食で腹ごしらえ。その後教室へ移動し荒川教授より、島嶼の個性豊かな自然や風土を活かした新しい保養・療養活動である「沖縄アイランドセラピー」について講義を受けました。沖縄の自然や文化がなぜ心や身体に優しいのかを改めて認識しました。一同琉大の学生気分には?!

「沖縄アイランドセラピー」とは（荒川教授資料より）

島嶼地理→非日常空間の転地
 わが国随一→亜熱帯海洋性気候・風土
 タラソ（海の）セラピー→海洋自然でのアクティビティ
 チャンプルー料理→島食材によるキュージーンズ
 ホスピタリティ・交流→地域とのふれあい

● WATSU セラピストの小笠原夫妻によるウェルカムビーチバーベキューを堪能!

沖縄本島の東海岸、宜野座村は開発が進んだ西海岸と違い沖縄本来の静かな風景が広がる別天地です。今回この宜野座での滞在プログラムをコーディネート頂いた沖縄 WATSU CENTER 代表の小笠原徹さんご夫妻によりバーベキューのおもてなしをいただきました。場所は地元の人しか知らないプライベート感覚のビーチ「ヒーピー浜」。地元食材を中心に低糖質にこだわったメニューの数々に美味しいワインがマッチし思わず心がとろけるような至極のひとつを味わいました。

2日目、3日目は次号でご紹介します。お楽しみに!



琉球大学キャンパス



荒川教授による講義で理解を深める



手つかずの自然に癒されるヒーピー浜



低糖質メニューで翌日に向けた体調管理

■ 9月16日（金）京都大学×KBS 創研シンポジウムを今年も開催します!

お陰様をもちまして第4回を迎える観光シンポジウム。京都大学経営管理大学院との共催で行う今年のシンポジウムテーマは、「観光にMBAは必要か? ~ DMO人材との関連は? ~」

産官学における観光産業の経営人材や企業家の育成を始めようと、2020年までに大学院を創設し観光専門の経営学修士号(MBA)の取得、経営実務を学ぶカリキュラムを開発すると観光庁の発表も記憶に新しいところかと存じます。日本の観光産業の競争力を高めるため、観光専門の「MBA」によりツーリズム産業の推進者を輩出していこうというのは自然な流れのように見えます。

しかし本シンポジウムでは毎年、当たり前と思える命題に思考停止せず、疑問を呈してきました。今回も、観光業界に特化した経営学や「MBA」とは一体何なのか、これからの未来にどんな変化を生み出していくのか、また今観光の現場で求められているのはそもそもどのような人材なのかと、あえて議論の俎上に載せてみたいと思います。

昨今のもうひとつのキーワードに、DMO (Destination Management/Marketing Organization) があります。観光人材の育成、地域観光の組織づくりなど、DMO やリーダーシップへの期待も高ま

る今、MBA がそれを担うことができるのかなど、あらためて考える機会になればと思います。

「観光にMBAは必要か? ~ DMO人材との関連は? ~」

- 開催日時 9月16日（金）13:00 ~ 17:00（開場 12:30 ~）
- 開催場所 京都大学 吉田キャンパス
http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/map0r_y.htm
 (定員: 約100名) (先着順) (参加費無料)
- シンポジウム
 次第 12:30 ~ 開場
 13:00 ~ 第1部 基調講演、ポジショントーク
 15:20 ~ 第2部 パネルディスカッション (~ 17:00 終了予定)
- コーディネーター 京都大学経営管理大学院 特定准教授 前川 佳一氏
- 基調講演 原 忠之氏
 セントラルフロリダ大学ローゼン・ホスピタリティ経営学部 副学部長。早稲田大学国際教養学部及び商学部学術院 (MBA) 客員准教授。世界の観光ホスピタリティ学部経営者としても唯一の日本人。
- パネリスト 国土交通省 観光庁 観光産業課より (調整中)
 原 忠之氏
 株式会社 KBS 創研 代表取締役 小泉 壽宏、他 (調整中)

※お問い合わせ、お申込み先/株式会社 KBS 創研 広報室 野中 (のなか) 宛
 TEL: 03-6453-9088 / FAX: 03-6453-9089 / mail: nonaka@kbsbiz.com

編集 後記

「沖縄」ならではの地域資源を活かした旅行コンテンツを造る……。沖縄に支店を持ち、地元の多方面にわたる魅力と特徴を知り尽くした KBS 創研だからこそ開発することができた旅行商品「沖縄健康実感ツアー」を紹介。読むだけでも健康になりそうなコンテンツの数々。いえいえ、読むだけではなく、ぜひ沖縄に行って身も心も健康になりましょう。(増田)

株式会社 KBS 創研

コンサルティング事業部: 〒661-0003 兵庫県尼崎市富松町3丁目1-5-203 TEL:06-6423-5561/FAX:06-6423-5571
 R&D事業部: 〒151-0053 東京都渋谷区代々木2丁目23-1-766 TEL:03-6453-9088/FAX:03-6453-9089
 沖縄支店: 〒900-0012 沖縄県那覇市泊2丁目1-18 T&C泊ビル4階 TEL:098-917-0117/FAX:098-943-1501
 <関連会社>ネクストサポート株式会社 (事業再生コンサルティング)
 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4-6-20 マスイビル6階 TEL:06-6282-7226/FAX:06-4707-3855

- 代表取締役: 小泉 壽宏
- 事業内容: 観光・サービス業の経営支援
- 設立: 2004年4月
- 地域オフィス: 関西・東京・沖縄